



森のアイス！ 熱帯果樹『アテモヤ』発表会

森のアイスと呼ばれるほどの甘さが特徴の熱帯果樹『アテモヤ』の発表会（そお鹿児島農協主催）が11月2日（金）、役場において行われました。

本町、下谷迫でアテモヤを栽培している中崎増雄さんが、町長に贈呈しました。

そお鹿児島農協の管内では、中崎さんと志布志市の農家2件と合わせて12アールが栽培されています。

中崎さんは、「アテモヤの魅力は、味。マンゴーのように特産にできれば。熱帯果実で周年出荷体制を確立したい。」と話されました。



▲町長にアテモヤを贈呈する中崎さん親子



歩行者天国で賑わう！ おおさきチャレンジ朝市

第2回目となるおおさきチャレンジ朝市が11月11日（日）、三文字地区の城南通りで行われました。

歩行者天国になった通りには、新鮮な野菜や果物、海産物、工芸品等、自慢の品物をずらりと載せた軽トラックが並びました。

あいにくの天気にもかかわらず、通りには、多くの人々が訪れました。

特設会場では、ピアノ演奏や飴のつかみ取りなどの催しが行われました。

朝市は、毎月第2日曜日に開催されます。



▲新鮮な野菜や果物を買求める来場者



懐かしい故郷大崎を語る会！ 近畿大崎町会

近畿在住の大崎町出身者で構成される近畿大崎町会の総会が10月28日（日）、大阪市内のホテルで開催されました。

今年で24回目を迎える総会には、町長をはじめ、議会代表、商工会関係者など24名が参加し、総勢140人が集いました。

総会では、諸木一義会長のあいさつのほか、町長から故郷の近況報告が行われました。

また、懇親会では、大崎音頭が披露されると参加者全員で踊りの輪ができ、会員らは、故郷を懐かしんでいました。



▲『ふるさと』を合唱する近畿大崎町会員ら